

# 児童会活動 学習指導案

令和8年2月18日（水）3校時

場所 図書室

## 1 議題 「ワクワク キラキラ 思い出づくり」

児童会活動 活動内容(1)児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営

(ア)学校生活の充実と向上を図る諸問題の解決

## 2 議題について

### (1)児童の実態

児童は落ち着いて学校生活を送っている。これまで児童会活動として、委員会活動や児童会集会活動（1年生を迎える会）をした。一升ケ森学習や共楽運動会でキラキラ班で活動し、全校体育や全校給食により、異学年交流を通して思いやる気持ちが育っている。一方、少人数のために友だちとの付き合い方や関わり方が固定化し、言いたいことがあっても我慢している。

また、学校行事や交流活動が多いが児童の思いと違っていたり、児童が意思決定したりする場面が少ないため、児童は受け身の姿勢が見られる。教師の都合や思い込みにより児童は話し合いができない、時間が足りないと捉えて話し合いや考える時間がもてず、子供主体の活動になっていない状況も見られる。

### (2)議題選定の理由

令和8年度末の再編統合に向けて新野東小で心に残る思い出をつくってほしい。児童が全校や学級で、やってみたいことや話し合いたいことがあると話し合いの必要感が生じる。議題の提案により話し合いをし、実践できる児童会活動にしたい。

そこで、冬休み中に「令和8年度にしたいこと」アンケートの結果、「学校かくれんぼ」、「タイムカプセル」、「小学校ツアー」、「調理実習」、「ドッジボール大会」、「お誕生会」、「おとまり会」の意見がでた。PTA役員で「誕生会」は、給食時にケーキでお祝いしたいという意見がでた。「おとまり会」は、現実的に難しいことを保護者に伝えた。

それ以外の5つのことについて、全部するか、又はいくつかするかは、児童の考えを大切にして決めたい。児童会活動では、異学年の子供たちが話し合いを生かして協力し合い、主体的に活動することで、よりよい人間関係が生まれ、学校生活が豊かで楽しいものとなり、自己実現につながる。

児童が話し合い、合意形成を図り、実践することを通して、主体的に取り組む児童を育てたいと考え、本議題を選定した。

### (3)指導に当たって

これまでに、児童はホワイトボードミーティングや教育長とのふれあいタイムを通して、異学年で自分の意見や考えを伝える経験をしている。自分の意見が一番よいと考える児童や発表することを苦手と感じている児童もいる。話し合いでは、全児童の思いを生かすようにして「みんなで楽しむこと」つまり、「自分だけでなく、みんなにとってもよいこと」で合意形成ができる話し合いにしたい。そのために、児童が他の人の意見を聞いて思いを受け止め、多様な意見の違いを認め合い、つながりを大切にした意見が出せるようにしたい。話し合いが行き詰まったときは、議題提案者の気持ちに共感し、全体の目標に沿うよう助言する。

提案理由や話し合うことについては、視覚的な手立てを講じることで、意見を共有しやすくなるよう工夫する。また、各自の意見はホワイトボードに記入することで書くこと・話すことの活動に取り組みやすいようにする。

今回の話し合い活動を通して、みんなが納得できる決定に向けて、進んで話し合おうとする態度や協力してよりよい学校生活をつくっていかうとする力を育てていきたい。

### 3 活動の流れ

	活動内容	時間	指導助言
準備 (計画委員会)	役割分担・議題選定 話し合う柱の検討	2/10(火) 2校時	・話し合いのめあてや内容、順序、時間配分を考えて計画を立てることができるよう助言する。
準備	全校生に伝える	2/16(月)朝会	・話し合うことが共通理解できるようにする。
話し合い	ワクワク キラキラ 思い出づくり	2/18(水)本時	別紙参照
実践	実践(全員)	R 8年度	楽しく計画的に活動できるよう見守り、必要に応じて助言や称賛をする。 1 活動名      2 日時      3 目標 4 内容・プログラム      5 準備物      6 役割
振り返り	振り返り(全員)	R 8年度	よかった点は称賛し、反省点は次の活動に生かせるよう助言する。

#### 【参考】

##### ○ 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

特別活動の目標は、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の4つの内容の目標を総括する。

##### ○ 児童会活動の目標

異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成することを目指す。

### 3 児童会活動の活動過程



#### 4 本時の活動

##### (1)ねらい

学校生活をより楽しく豊かなものにするために、友だちの意見を受け入れながら、したいことの内容や工夫等の計画を考えることができるようにする。

##### (2)活動計画

議 題	ワクワク キラキラ 思い出づくり		
提案者 提案理由	全校児童で閉校する前に最後の思い出をつくりたいから		
決まっていること	みんなで楽しむこと		
司会グループ	司会	司会	黒板記録
話合いのめあて	自分から進んで発表しよう		
自分のめあて	各自		
話合いの順序	気をつけること		準備
1 はじめのことば 2 司会グループの紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 決まっていることの確認 6 話合いのめあての確認 7 話合い 話し合うこと① 「なぜ、それがしたいか」 (15分間) 話し合うこと② 「何をするか決める」(10分間) 話し合うこと③ 「いつするか」 (10分間) 8 決まったことの発表 9 振り返り 10 先生の話 11 終わりのことば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。</li> <li>・自己紹介と自分のめあてを発表する。</li> <li>・提案者の思いを全員が理解し、全校児童で共有する。</li> <li>・司会が進行に困ったときは、方向性を示唆する。</li> <li>・したいことと理由をホワイトボードに書き、発表する。</li> <li>・今している行事に合わせられるものはないかの視点で考えることができるようにする。</li> <li>・意見を出し合った後、比べる。その後、まとめる。</li> <li>・1～2名の児童が発表する。</li> <li>・実践への見通しをもち、意欲が高まるように言葉がけを行う。</li> </ul>		ホワイトボード、ペン、イレイサー (準備済)

